

てつばぎ

No.77

島根県保育協議会・保育士部会



ごあいさつ

保育士部会長 若槻 紀子
(雲南保育協議会 八川幼稚園)



保育士部会長の役を受け、
早くも2年の月日が経ちます。

任期中は、無知な私を多く
の方に支えていただき、部員
の先生方にご尽力いただきましたお蔭で役を
務めることができましたことに深く感謝いたし
ます。

全国の保育をめぐる動向を身近に学ぶ機会
を与えていただき中、今後、改定指針のスター
トにより「幼児期の終わりまでに育ってほしい
姿」10項目を意識して保育活動を行うことが
求められます。これまで大切にしてきたこと
を土台にして、保育組織の中で研鑽し、子ど

もが自分らしい在り方を大切にされ、一人ひ
とりの育ちを保障される場であり続けるよう、
私たちはこれまで以上に責務を果たしてい
かねばならないと思います。

時は流れていきますが、日々の保育や暮ら
しの中で、変わってはならないことや忘れて
はならないことを胸におき、子ども一人ひと
りの今を大切に、命を守り幸せを願いながら、
自らの専門性の向上を目指してみなさんと手
をつなぎ、子どもと共に成長していきたいと
思います。

2年間の貴重な経験をさせていただき、誠
にありがとうございました。

ご案内

「第51回全国保育士会研究大会」について

【開催期日】平成29年10月26日(木)～27日(金)

◆開催県／富山県

来年度開催の全国保育士会研究大会において、雲南保育協議会 奥出雲ブロックが分科会で発表いたします。

◆テーマ／第7分科会 保護者に対する支援を考える「地域における子育て支援」

◆助言者／桜花学園保育学部教授 兼任 桜花学園大学大学院教授 小嶋玲子氏

現在、奥出雲ブロックでは、小嶋先生に助言を頂きながら研究に取り組んでいます。発表に向けて
頑張りますので、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

是非、第51回全国保育士会研究大会と一緒に参加しましょう!!



—地域に根ざした子育て支援・ 地域とのかかわり—

地域と非常に深いかかわりをもつ保育園。今回はそれぞれの市郡で取りくんでおられる地域とのかかわり、子育て支援について3つの市郡の取り組みをご紹介します。

市内認可保育所（園） 幼保園一斉開放への取り組みから

松江市保育研究会

松江市保育研究会では、毎年新年度の入園募集が始まる前の11月初旬に、研究会加盟所（園）一斉の園開放を行っています。

これは、これから子どもを集団生活に入れたいと考えておられる保護者の方に、もう10年以上前、当時幼稚園と比べ意外と知られていない保育園をまず知っていただくという趣旨で始めました。しかし、その後保育園の認知度は随分とアップし、今では毎年待機児童が発生するほど保育園への入園を希望される方は確実に増え、保育園選びの一機会となっているのが実情です。この一斉開放は、毎月行っている「園開放」とは違い、一斉に行うことで希望される方はこの二日間で複数の所・園を見学できるのも魅力のひとつとなっています。

今年度はこの一斉開放を11月1日・2日の二日間行いました。市の子育て課にも協力していただき、ホームページや広報、ツイッター等に掲載していただいたり、各所園でチラシを配布・掲示したりして事前の広報活動を行った結果、研究会加盟54か所・園全体で二日間の参加者は470組の親子での参加と10人の保護者のみの参加がありました。

当日は

- ・七五三祝い会、芋掘り、焼き芋などの園行事と一緒に参加してもらう
- ・同年齢のクラスに入らせていただいて手遊び・リズム遊びなどの親子でのふれあい遊びを体験してもらう
- ・保育士手作りの玩具でのあそび
- ・園庭でのあそび
- ・散歩と一緒に出かける
- ・給食の試食をしてもらう



などの保育内容で、保護者の質問や相談には保育士・看護師・栄養士などが対応するなど保育園の専門性を活かしながら行いました。

参加された方のアンケートを見ると

- ・一斉開放は是非続けて欲しい
- ・いろいろな活動があり、たくさんのことを学んでくれそうだった。保育園は子どもの成長に良いと思う
- ・とても楽しく過ごすことができ、保育園がどんなところかわかり安心して利用できる
- ・同年齢、異年齢の子どもと遊んだり、職員とも話をすることができ、入園後の不安を解消することができた
- ・入園にあたりわからないことを具体的に聞け、不安解消となった上、実際に入園した時のイメージをすることができた
- ・丁寧な説明を受け、質問もしやすかったので、知りたかったことを知ることができた
- ・離乳食、食事の味付けや材料は参考になり、また給食担当の先生に離乳食の相談ができて良かった

などたくさんの好意的な感想をいただきました。

今後もなかなか一歩を踏み出しにくい在宅の子育て家庭に対して、実際に保育園の中に入っていただき、環境を見、雰囲気を感じていただき、そこにいる園児や職員と触れ合っていただくこの取り組みを継続していきたいと思っています。

交流保育「お祭りごっこ」

かのあし保育協議会

かのあし保育協議会に属する津和野町では10年位前から交流保育のひとつとして秋にお祭りごっこを行っています。同年齢の子どもが2～5人という小規模園が多く、ごっこ遊びの楽しさが味わえないため他園との交流で同年齢の友だちと一緒にいることにより、言葉のやりとりや友達関係が広がることをねらいではじめました。

それぞれの園で決られた数の品物をその園の特色を生かした材料とアイデアで当日までに準備します。開催場所は町内の中央に位置する日原保育園で、参加を希望する園の3歳以上児が集まります。店の商品並べ、看板などの準備を済ませ、お買い物券で売り手買い手を交替にすすめていきます。「いらっしゃいませー」と一斉に元気な声が飛び交いお祭りごっこがスタートします。おもちゃ屋、ゲーム屋、アクセサリ屋、変身屋など毎年工夫された店が10店位あります。はじめは圧倒されていた子ども次第に自分で動いてお店に行ったり、友達と一緒に呼び込みしたり笑顔になっていきます。全部お店を回ると買い物袋がいっぱいになって得意そうです。売った後は園ごとに歌や踊りなど普段の様子を披露します。他園の姿も興味津々で見たり刺激になります。お腹がすいてお昼は食券で食べ物屋を回ります。おかわりをして友達と一緒にお腹いっぱい食べる姿はとてもほほえましいです。

お祭りごっこが終わってそれぞれの園に帰って行きますが、この「お祭りごっこ」の余韻は残っていてそれぞれの園でまたお祭りごっこがはじまります。

我が園でもしばらく「いらっしゃいませー」「ありがとうございました」の声元気が響いていました。一つのごっこ遊びを通して個々の子どもが感じたことや経験したことを再現発展させていけることにこの保育の大きな意味があると考えています。今後も内容を見直しながらかつていきたいと思います。



保小中の連携 ～ふるさと教育の取り組みから～

益田市保育研究会

ふるさと教育を基盤とした保育所と小学校の連携がスタートして5年目となりました。今年度は5校区、5つの小学校と11の保育園が連携した活動を行っています。この保小交流は、保育所時代に地域の資源にどっぷりと浸り味わった楽しさや感動を小・中学校時代へとさらに深めて、ふるさとを想う気持ちをつなげること、地域について豊富な知識や技術をもっている地域の方々にさらに巻き込み、地域の大人へのあこがれをもってもらうことをねらっています。活動内容は、川や海、山など地域の資源を生かした活動や、学校でのふれあい遊びや給食体験等、園や学校の規模、地域に応じて、時期や回数なども工夫しながら取り組んでいます。こうした取り組みから、園児にとっては、小学生の発見や気づきが刺激となり、新たな遊びの広がりになったり、小学生へのあこがれに結びついたりしています。また小学生は、園児の質問に答えたり、お世話をしたりする中でリーダーシップを発揮し、自信に満ちた姿を見せてくれています。

昨年度からは、島根県立大学、益田市教育委員会とも連携し、保育所、小、中学校の教員が年3回集まり、「ふるさと教育マルシェ」という合同研修会を行っています。中学校区ごとに話し合いの場を設けながら、各地域にあった保・小・中の連携したふるさと教育ができるよう進めているところです。私たちは保育所の時代だけではなく、卒園後育っていく子ども達の姿も見据えながら保育をしていくことが必要です。同じ地域の子どもの育ちを連続的に見守っていけるよう、同じ校区の先生方ともつながり、共に学び合うことができればと思います。益田市、各地域の良さを生かした保育・教育を受けることができた子ども達は、きっとふるさと益田を想う子ども達に育ってくれると思います。



人材育成プロジェクトの活動報告と今後の課題

今年度は人材育成プロジェクトの新たな取り組みとして、チームビルディングの研修会を開催しました。「良いチームを作るためにはどうすればいいか」「そのためのリーダーとしての役割は何か」といった課題について、チームビルディングの専門家を講師とお招きした研修です。複数の保育者がチームを組んで行うのが保育で、その中では様々な問題が起こります。チームを上手く機能させることで保育が豊かになり、楽しいものになっていくと誰もが知っているはずなのに、なぜか様々な問題が起こってしまうのが保育です。不思議ですね。でも今回の研修では、その不思議なことが起きてしまう仕組みに気づかせてもらい、少しでも良いチームを作り、保育を楽しいものにしていくための行動を学ばせてもらいました。

また別の取り組みとして、隠岐郡海士町の方との意見交換の場も設けました。海士町についてここで詳しくは書きませんが、多くの移住者を集めることでも全国から注目されているところです。島をあげた取り組みが地域の力となり、活性化につながっています。地域と保育園は非常に関係が深いのはみなさんご存じの通りで、地域とのつながりや多様な関わりは子どもたちが社会を知るきっかけとなります。そう考えると、過疎によって地域の力がなくなっていく問題は保育園にとっても無関係ではなく、特に過疎地の多い島根県においては、保育園の立場からも「地域の活性化」を考えていくことが必要になってくると考えています。短い時間での意見交換ではありましたが、海士町の取り組みを知り、そこで活動しておられる方の大きな熱量を感じることができ、私たちも新たな課題に目を向ける必要があることを気づかせてもらったように思います。今回は人材育成プロジェクトのメンバーのみの取り組みでしたが、今後の研修会のテーマとして登場することもあるかもしれません。広い視野で保育を考える流れを作り出すことも、これからの人材育成プロジェクトの課題として活動していきます。



人材育成プロジェクトリーダー
相山 慈 (江津市 あさり保育園園長)

任期を終えて



早いもので、2年の任期を終えようとしています。総務研修委員長という役をすることになり、びっくりしたことがついこの間のことのように。各地区の会員の皆様のご協力のおかげで無事任期が終えられることに感謝しています。東西に長い島根県ですが、会員になったことで、交流が持て、情報交換等もできて良い経験になりました。各種研修会でスタッフとして支える側になって運営の大変さを改めて感じると共にこのように支えてもらっていたのだとありがたく思いました。2年間ありがとうございました。
出雲市/こぐま保育園 石倉 幸恵



2年間総務研修委員として様々な研修に携わらせていただきました。どのような経過を経て研修が開催され、スムーズに会が進行できるようにどう動けばいいのか...などとても勉強になりました。他の市郡の先生方と一緒に活動したり話したりすることも楽しい時間でした。つながりが増えたことをとても嬉しく思っています。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。
江津市/さくら保育園 福富 由希子



調査編集委員として2年間「てつなぎ」の編集に携わらせていただきました。毎回4人のメンバーで「どんな内容にしよう?」「先生のところではどんなことをしてる?」と頭を悩ませながら取りくんだ委員会は、全く知らなかった仲間との新しい出会いの場となり貴重な体験の場となりました。「今井先生へのインタビューは何から始めようか?」と緊張しながらドアをノックしたことが、ついこの間のことのように。そして、幼い子ども達のつぶやきは、いつもホッと心を和ませてくれました。これからもこの「てつなぎ」が県内各地の保育所・園を結んでずっと継続していきますようお願いしております。
松江市/しらゆり保育園 鳥谷 純子



初めて県保育士部会への参加ということもあり不安や緊張でいっぱいでしたが、他市郡の先生方とお話をさせていただき情報交換もできたことは未熟な私にとってとても勉強になり有意義な時間を持つ事ができました。また調査編集委員として編集の大変さを知りましたが、HOTではたくさんの子どものつぶやきや絵、写真を見させてもらうことができとても心温まりました。貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。
かのあし/青原保育園 水津 智美



総務研修委員として活動し、あっという間に2年間が過ぎようとしています。主に、研修会の裏方としてお世話をさせていただきました。会を重ねる毎に、他市郡の先生方と親しくさせていただき、次にお会いできるのが、とても楽しみにになりました。また、情報交換をする中でたくさんの刺激を受け、自分の保育を見直す良い機会となりました。素敵な出会いに感謝しています。
大田市/大田保育園 山根 三枝



保育士部会では、総務研修委員の方で、研修会の手伝いを経験させていただきました。これまで受け身だった研修の裏方に回らせてもらうことで、事務局や色々な人たちの協力を知ることができ、良い経験となりました。日々の保育の中でも、子どもや親と接することだけでなく、いろいろな人たちの支えがあることに感謝しながら、この2年間を貴重な体験として、今後の保育に活かしていきたいと思っています。ありがとうございました!
邑智郡/いわみ西保育所 山崎 恵美子



不安だらけのスタートから、気付いてみればアツという間の2年間でした。読み手の先生方にとって役に立つ情報やホッとする誌面ができればと思いながら自分なりに取りくみました。保育者のつどいで講演していただいた今井先生のインタビューの際、保育への熱い思いを感じ、元気をいただいた事は心に残りました。この2年間、部長さん・部員の先生方と共に活動できたのも周りの人の支えあっての事と思います。本当にありがとうございました。
浜田市/うみかぜ保育園 野田 明美



2年前、「調査編集委員長」という大役をいただきました。たくさんの方のお陰で「てつなぎ」を発行することができたこと、大変感謝いたします。右も左も分からないまま活動に参加させていただく中で、多くの方の支えがあってこそ保育士として働ける自分ということに気付かせていただきました。2年間でいただいた貴重な経験と、ご縁を大切にしながらこれからも頑張っていこうと思います。
益田市/鎌手保育所 宇田川 亜由美

保育士のつばぎ

子どもに足を踏まれ、大げさに転がる保育士

子ども 「ほんじゃあ熱はかりますね」
(自分の人差し指を体温計に見立て)
保育士 「熱ありますか?」
子ども (手を見つめ)
「う〜ん。6時半です」
保育士 「えっ? 時間きいてないよ〜」(笑)

子どものつばぎ

Hくん 「今度、東京に行くよ!」
保育士 「へー いいなあ」
Sちゃん 「えっ?? どの農協??」
保育士 大爆笑
Hくんは「のうきょうじゃない!! とうきょう!!」と必死でした。

子どものつばぎ

焼き芋大会で園庭でたき火をしているのを見ながら
「葉っぱの音が聞こえるよ」と葉っぱがパチパチ音がするのを聞いて見ていた。



【ドキドキ そろ〜り そろ〜り】

子どものつばぎ

かたらの葉を取りに行き
かたらの葉を自分自分で摘んでいて「とげがあるよ。」「くもの巣ができていよ。」と触っていた女の子。「こんな赤ちゃんのもあった!」と小さい葉を集めて、「これはありんこ組のおもち用だよ。」と見せてくれました。小さいクラスのこどもたちのことも考えて優しいお姉さんです。

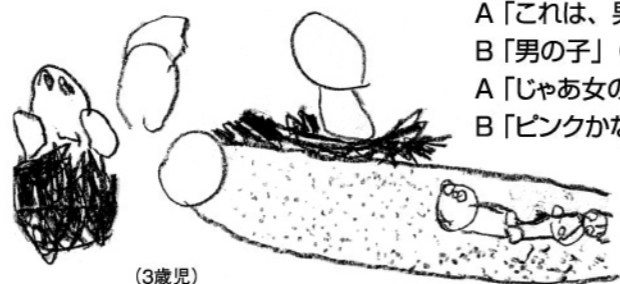
子どものつばぎ

お散歩先で

道路に大きなミミズを発見した男の子。「おーい! うなぎ! みんなーうなぎ!!」と叫んでいました。大きさにびっくりした興奮が伝わってきました。

連絡ノートより

(1歳児)
最近よく「おいで〜」「おいで〜」と呼んでくれるようになり可愛らしいので(笑) つい忙しくても行くようにしています。特別、用はないみたいですが…。



(3歳児)

連絡ノートより

(2歳児)
今朝、〇〇と「サザエさん」のテーマソングを歌っていたら、歌い終わりに「ごらんのスポンサーでお送りしました」と言いました。まさか子どもからそんな言葉が出ると思わず、笑ってしまいました。

子どものつばぎ

蓮池の周りを散歩していた時
子ども 「あれ、なに?」
保育者 「あめんぼうだよ」
子ども 「みんな! あれ "あまえんぼう" っていうんだって!」



【紙がいっぱい。たのしいな!】

子どものつばぎ

妹の注射の様子をみて(5歳児)
「あーご立派(むちむち)だけえ、これ(注射後のテープ)貼ってないとプシューってしほむかもしれんねえ」…注射の針の穴から空気が抜けるらしい!!

子どものつばぎ

トレーニングパンツデビューした子どもたち。パンツのお披露目をしました。「〇〇ちゃん、いちご。かわいいね〜。」「〇〇ちゃん、パンダ!!」するとKくん。「せんせいのは?」と…
◎です(笑)



子どものつばぎ

ダンゴ虫をみて(4歳児)

A 「これは、男の子? 女の子?」
B 「男の子」(黒色なので)
A 「じゃあ女の子は?」
B 「ピンクかな??」

(5歳児男児の母)

歯が抜けて、幼児→少年へと旅立つのが嬉しいような、さみしいような、嬉しいような。そんな秋なのです(笑)

みんなの声を聞いて! 聞いて!

HOT

ホッと

子どものつばぎ

園庭でドングリをみつけ両手いっぱい握りしめたRくんは、片付けたくない様子。そこで「ドングリさんも寒いけん、おうちにかえりたいんだって。」という砂場の山をみつけ「ねんねー」と言いながらドングリが半分みえる位埋めていき、葉っぱのふとんをかけて満足そうに部屋に帰って行きました。

連絡ノートより

お弁当の日の夜

お弁当どうだった?と子どもと話をしていた時のこと。お父さんもお弁当をもっていくのですが、お父さんに「どこで食べる? 敷物は? 誰と食べる!?!」と質問していました。



【みてみて〜! ほくたち なかよしだよ!!】

連絡ノートより

(2歳児男児)

携帯の写真を見ていたら、〇〇がお腹にいる時の写真が出てきました「この中に〇〇ちゃんいたんだよ〜!おぼえてる?」と聞いてみたら「ママが食べた」と、一言。子どもならではの発言に笑ってしまいました。



【すすき 見つけたよ】

保育士のつばぎ

【う〜ん! ペタペタ…】

散歩の途中、めずらしい草花をみつけたので保育士「これまわしてみて」
Cちゃん「せんせい ころ?」
見ると、Cちゃんが一生懸命その草花をぶるんぶるんとふりまわしていました。あまりの真剣さにおかしいやらかわいいやら…ごめんね、説明が悪かったね。



連絡ノートより

(3歳児)

保育園の帰り、車の中からお月様が雲で見え隠れしており、雲に覆われて見えなくなると「お月様も車でうごいてるんじゃない?」と言うので「月は車で動かないでしょ」と普通に返したら、「違うよ! ウサギが運転してるでしょ」と言われました。

つばぎ